

住民説明会（別途説明資料）

健康福祉センターの評価・検討について

健康福祉センターの在り方に関する検討委員会（令和5年度）

令和7年10月 大木町役場健康課

健康福祉センターの在り方に関する検討委員会 におけるセンターの評価・検討について

【評価の基本的な視点】

- ① 行政の社会的責任
- ② 住民感覚
- ③ 経営意識
- ④ 社会情勢の変化
- ⑤ 公共施設の機能低下と老朽化

【評価】

一次評価（公共施設のハード面・ソフト面）

二次評価（定性分析・委員集約を踏まえた再評価）



財政上の留意点を勘案し 答申書を作成

一次評価（ソフト面）

※各項目の配点は5点満点

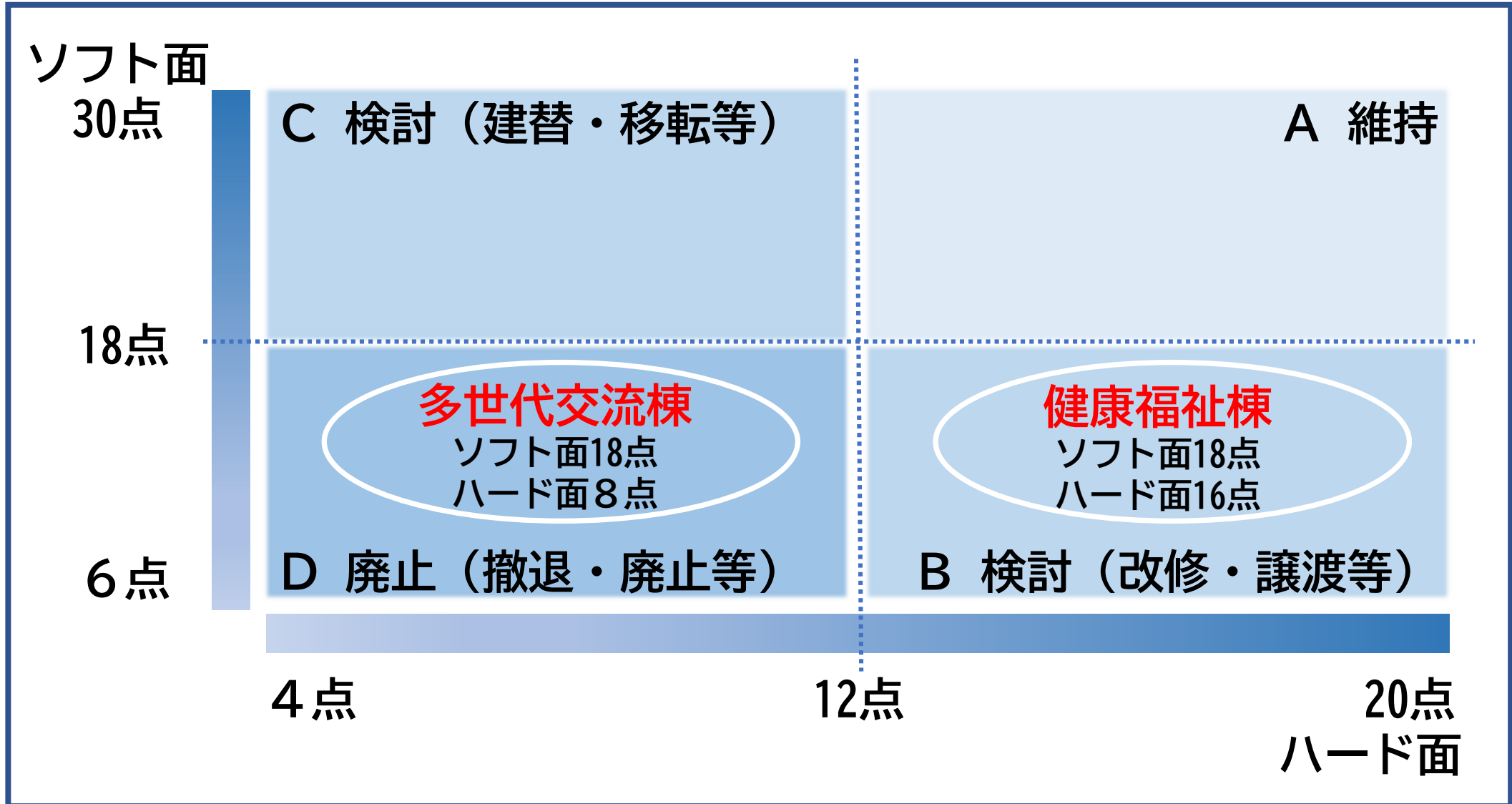
評価項目	評価の考え方	結果	配点
施設種別	法定施設か自主施設か	複合施設	3点
利用者	町民の利用割合	4割	3点
代替え可能性	近隣の類似施設数	温泉8・プール20	1点
経営状況	損益分岐点と客単価の差	良くも悪くもない	3点
収益性	利益率	良くも悪くもない	3点
公社の安全性	支払い能力や倒産の危険度	危険性は低い	5点

一次評価（ハード面）

※各項目の配点は5点満点

評価項目	評価の考え方	結果	配点
施設機能	開設当初からの施設機能の低下度	一部性能なし	3点
耐震性	耐震性能	耐震性能在り	5点
改修度	改修の難易度	健康福祉棟：普通	3点
		多世代交流棟：困難	1点
改修原因 解消度	改修工事による 原因の解消度	健康福祉棟：易しい	5点
		多世代交流棟：難しい	1点





一次評価結果



二次評価（定性分析データに基づく再評価の視点）

視点	具体的指標	指標の内容
①将来ニーズ	健康寿命・高齢不助力・高齢者人口など	<ul style="list-style-type: none">・高齢化社会と将来利用者等を踏まえ将来ニーズ、需要変化等について考察・評価・事業及びアクアス機能の公益性、公共性の評価、検証
②既定計画・将来政策等の位置づけ	政策・施策の位置づけ	<ul style="list-style-type: none">・既定計画、将来の政策・施策のあり方を踏まえ政策・施策の重要度、必要性、施設の可能性を考察、評価・設立当初の基本理念の検証
③住民の意見・気づき	住民アンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none">・利用者、非利用者の意見を把握したうえで、定性分析結果を評価、検証
④経営主体と指定管理のあり方	指定管理者制度の在り方	<ul style="list-style-type: none">・公社の職責と経営能力、指定管理者に対する行政の適切な関与・公社存続の意義、経営健全化の取り組み、経営再建の可能性、サービス提供主体等を評価、検証

二次評価（定性・定量分析と意見集約による再評価）

評価項目	評価結果
①将来ニーズ	<p>低 やや低 どちらでもない やや高 高</p>  <p>A horizontal scale with five points labeled '低', 'やや低', 'どちらでもない', 'やや高', and '高'. A blue line connects the points. A large dark blue circle with a white center is positioned at the midpoint between 'やや高' and '高'.</p>
②規定計画・将来政策等の位置づけ	 <p>A horizontal scale with five points. A large dark blue circle with a white center is positioned at the '高' point.</p>
③住民の意見・気づき	 <p>A horizontal scale with five points. A large dark blue circle with a white center is positioned at the midpoint between 'やや高' and '高'.</p>
④経営主体と指定管理の在り方	 <p>A horizontal scale with five points. A large dark blue circle with a white center is positioned at the '低' point.</p>
集 約	定性的分析等の意見集約を5段階により整理

● 財政運営上の留意点

- 全ての公共施設や社会インフラの長寿命化を図りながら改修等を行った場合、2022年から2059年までに約311億円の費用が必要(町予算における投資可能額は年平均6億円前後)
- 公共施設長寿命化計画(令和元年度作成)における健康福祉センターの維持保全計画において、施設の解体費用は、多世代交流棟が約9,270万円、健康福祉棟が約4,980万円と試算
- 同計画において、施設長寿命化を図り施設を65年使用した場合、平成31年以降、解体までの改修等費用の総額は、多世代交流棟が約18億4150万円、健康福祉棟が約5億6,470万円と試算